

宇都宮市立豊郷中学校 第3学年 生徒質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

【学習に関すること】
○国語・数学に関する一連の質問では肯定的回答の割合が高く、全国・県の割合を上回っている。
●『家で、学校の授業の復習をしているか』の質問に対する否定的回答が42.6%で、全国の割合は6.7P下回っているが、県の割合は6.8P上回っている。半分近い生徒が授業の復習ができていない状況は、学力向上を考えた場合マイナスである。ただ、塾に行っていない生徒の割合が27.7%で、全国・県の割合をそれぞれ10.8P、13.5P上回っており、その影響があるのかもしれない。
●『1・2年生のときに受けた授業の中で目標が示されていたと思うか』『1・2年生のときに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思うか』『1・2年生のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標とまとめを書いていたと思うか』の質問に対する否定的回答がそれぞれ27.1%、42.5%、45.8%で、全国・県の割合をかなり上回っている。教員の意図が生徒にうまく伝わっていないようなので、この結果を真摯に受け止めて、ねらいを生徒に伝える工夫をしていかなければならない。
【学校生活等】
○『学校に行くのは楽しいか』『学校で友達に会うのは楽しいか』の質問に対する肯定的回答がそれぞれ86.7%、96.3%で、全国・県の割合を上回っている。『学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがあるか』の質問に対する肯定的回答が91.5%で、全国・県の割合を上回っており、学校行事等での取り組みの成果が現れている。『先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思うか』の質問に対する肯定的回答が92.0%で、全国・県の割合をそれぞれ11.6P、7.0P上回っている。教員と生徒との人間関係の構築がよくなされている結果かと思われる。
【地域との関わり等】
○全体的に肯定的回答の割合が大きく、地域とよく関わっていることが分かる。
【社会に対する興味・関心】
○『外国の人と友達になったり、外国のことにしてもっと知ってみたいか』の質問に対する肯定的回答がそれぞれ69.7%で、全国・県の割合を上回っている。外国や英語に関する興味・関心が高いと思われる。
【自尊意識】
○『ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがあるか』『自分には、よいところがあると思うか』の質問に対する肯定的回答がそれぞれ97.8%、76.6%で、全国・県の割合を上回っている。
●『難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦しているか』の質問に対する否定的回答が21.3%で、全国・県の割合は下回っているものの、この数字は黙止できない。失敗を経験してこそ成長があることを、もっと伝えていきたい。
【規範意識】
全国・県の回答との差は認められなかった。
【家庭生活】
○『家の人と将来のことについて話すことがあるか』の質問に対する肯定的回答が72.8%で、全国・県の割合を上回っている。
○『家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来るか』の質問に対する肯定的回答が94.1%で、全国・県の割合を上回っており、学校に対する関心の高さを表している。
●『家の人と学校での出来事について話すか』の質問に対する肯定的回答が74.4%で、全国の割合とは同じものの県の割合を下回っている。

宇都宮市立豊郷中学校（第3学年）
学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
学習課題の明確化	授業の初めに本時の学習課題を明示し、ノート等に記入させる。	『1・2年生のときに受けた授業の中で目標が示されていたと思うか』『1・2年生のときに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思うか』『1・2年生のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標とまとめを書いていたと思うか』の質問に対する否定的回答がそれぞれ27.1%、42.5%、45.8%である。
相互授業参観による授業力向上の推進	生徒が主体的に学べる学習形態・学習過程・学習指導の工夫を目的として、授業改善を目指す。	
毎週水曜日「家庭学習の日」の推進	放課後部活動がなく一斉下校になる水曜日に、少しでも机に向かい、家庭学習をする習慣作りをする。	『学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか』の質問に対し、30分未満の生徒の割合が11.7%である。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
『難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦しているか』の質問に対する否定的回答が21.3%である。	生徒が主体的に学べる学習形態・学習過程・学習指導の工夫を目的として、授業改善を目指す。	失敗しながら成長していくことを、体験を通して学ばせていく。